

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)3111代
印刷所 旭印刷
電話(水俣)4101番

前は乃志

津奈木



真夏を実感しないままに秋になり、田んぼの稲穂がこんなに気になったことはない、と、昨年の一言に書いてある。本年は、毎日毎日の晴天続きで水不足、異常気象を心配しつつも豊作が伝えられ嬉しい。米不足で輸入米に頼った一時期もあったが、今からは余剰米が、価格がと、色々気をもむところだろう。しかし我が豊葦原の瑞穂の国は昔から豊かな米作りの国、秋の収穫の風景はほんとうに心を満たしてくれる。抜けゆく様な秋空の下で稲刈り脱穀の機械の音は、力強く私達に生きて行くエネルギーを与えてくれるよつだ。

みのりの秋 収穫の秋

先日、博多に行く電車の中で読んだ新聞に次のような投稿記事が掲載されていた。
その内容は、一人暮らしのおばあちゃん、二人の孫と娘さん三人が、手作りのケーキを持ってお祝に行き、おばあちゃんからローソクを十六本もらって、ケーキの上に立てた。どうして十六本立てたのと尋ねたら「長(七)生き(五)し(四)てねと言うことよ」といった。それからローソクに火をつけて消し、孫たちが食べようとした時、娘さんが「まだ待ってね、おじいちゃんもいるでしょう」と孫たちと一緒に仏壇の前に座り手を合わせた後「さあ食べましょう。おばあちゃんおめでと」といって、お祝をしてくれたと書かれていた。
これを読んで思った事は、子供の頃から先祖をうやまう心、また老人を大切にすることを日常の生活の中で教えていくのが私達親の義務ではないか。そうする事で、おもしろいのある優しい子供が育って、今日社会問題となっている家庭内暴力、登校拒否等も減少するのではないだろうか。高齢化社会を迎えようとしている時老人を大切にすることは、町が提唱している「住みよくなる町」づくりにつながるのではないかな。(YK)

一言

敬老の日

若者たちが 餅をついて祝う



古中尾地区の若者でつくる地域づくりグループが、地区内のお年寄りに敬老の日を祝って、つきたての餅をついて贈りました。今まで地域を支えていただきありがとうございます。今後は我々も協力して頑張りますので、つきたても餅を食べて粘り強く益々長生きして下さい。
この餅つきのプレゼントは、子供の日も実施されています。

町民体育祭平国下連続優勝 染竹陸上1点差で2位



スポーツが、町民の融和、健康づくりを目的に、秋「体育の日」の10月10日、本年度、町民体育祭の最後を飾る陸上競技大会。爆竹の合同で、21地区選手団が入場行進、西川大会々長の開会のあいさつの後、いよいよ競技開始。小中学生リレー、ロードレース、綱引き等があり、選手がテントの前を通ると身をのりだしての応援。午後からは、輪回しリレー、二人三脚、年代別リレー等があり、終日に終わりました。
【成績は総合優勝平国下、二位日当、三位大泊、陸上競技優勝平国下、二位染竹、三位日当】以上の結果でした。



笑っていないで、ワッショイ、ワッショイ

(熊本県民俗芸能大会) 平国の子ともたち みごとに六方披露(六方踊り)



第十回熊本県民俗芸能大会で、平国小学校の児童がみごとに六方踊りを披露しました。今年、県内九地区の代表が出演し、いずれも見事な民俗芸能ばかりでしたが、子供だけの披露は津奈木だけ、大人でも難しい踊りや台詞をみごとに披露する子供達、会場はシーンとして皆さん見聞きしておられました。終了時は大変な拍手で感心しておられました。同行して下さった関係者の皆さん方も子供にはまけたと喜んでおられました。

熊本県婦人指導者 研修会に参加して (石田ミサ子)

女性団体等の指導者を対象として、婦人教育に必要な知識や技術及び活動の企画や運営等について研修を行い、指導者としての資質を高め、生涯学習時代における婦人教育の振興と女性の地位の向上を図る目的で熊本水前寺共済会館で前期、後期にわけ三日間にわたる研修が行われました。
研修会は県内郡市より三十五名の参加者があり、これからの婦人会をとおして、若手の会長さんにも多数参加しておられました。
研修は講話、実践発表、老人ホーム視察、さらに参加者を六班に分けてのグループ討議での意見交換等が行われました。
婦人会の組織は他のボランティア団体にはない多くの会員数を持っていますが、いつの時代にも共通するような問題をかかえているようです。それは活動のマンネリ化や若手会員の加入が少なく組織自体に老令化現象がみられることです。これらの問題を打開する為には役員の入替えを図り、魅力ある婦人会にしなければならぬ等の発言もありました。そういうわけで我が婦人会も何かをしなければと思いつつ現実にはきびしいものがあります。この研修を経て思うことは習うだけで終わらずに、これを持ち帰りいろいろな問題提起をし、自分達で考えよりよい婦人会活動ができるように勉強しなければと思った三日間でした。

あけぼの学習会 男だけの調理教室

あけぼの学習会で男子による調理実習を実施しました。
メニューは「射込み揚げ高野豆腐の煮物・山芋とキュウリのわさび和え・ミルックすもち」の三種類でした。非常においしい立派な料理ができました。馴れない手つきの包丁さばきでしたが実に楽し



そうでした。調理の難かしさで奥様の有難さを思われたようです。

父祖の地を尋ねて

徳富敬太郎・剛二郎氏

水俣市浜町に遺っている徳富蘇峰、蘆花兄弟の生家が解体復元され十月七日落成式が挙行された。

敬太郎氏(長兄)と剛二郎氏(次兄)は蘇峰の孫にあたり、水俣市が落成式にご兄弟を招待した。式終了後、多忙な日程を縫って津奈木に見えたお二人は、父祖の想い出の地を巡らされた。

蘇峰先生も千代塚をはじめ、善樹院の後ろ西ノ迫墓地に足跡を残された。

敬太郎氏は四年ぶりの来津で、齊藤助役、六車前町長が案内役を勤めた。その昔、太七が太鼓を打ち鳴らした重盤岩に登り、太七や清水(一敬)蘇峰が建立した「千代」の碑を撫で、清水の弟で横井小楠の高弟として将来を嘱望された。

天明年(一七八四)細川重賢侯に拔擢されて御惣庄屋となった太七から、茂十郎、太善次と三代にわたり通算四十七年の長期間

れながら流行病に罹って死去した熊太郎夫婦、その末弟で徳富家を継いだ昌龍(徳太)の眠る西ノ迫の墓前で手を合わせ、祖先を偲ばれた。



モデル公民館

地区別研修会

染竹公民館が、モデル公民館として地区別研修会を「スポーツを通して公民館活動の健全育成と親睦を図る」という研修テーマのもとに開催しました。透き通るような秋空の下に染竹地区の方々が七班に別かれて、グランドゴルフやターゲットバードゴルフを楽しみました。岩城・小津奈木地区公民館長(区長)老人会長さん八名も御出席いただき有難うございました。会の進行や皆さんがほんとうに仲よく楽しみながら汗を流し、地域の連帯感を強めプレーをなさっている姿を眺められ、何か得るところがあったのではないかと思います。

読書感想文

「空とぶくじら」を読んで
津奈木小2年 林 政和

とても泳ぎがへたなくじらくん、たこさんやいかさん、そして、とびうさんに泳ぎを教えてもらいに行っても、やっぱりだめ。どうしたら泳げるようになるのかかわらないくじらくん。かわいそうだね。

ぼくも、はじめは、ぜんぜん泳ぎはだめだったんだ。だって、手や足をバタバタさせても、すぐブクブクしずんでしまふんだもの。だから、先生や友だちに泳ぎを教えてもらったんだ。それでも、ちっとも体がうかないし、友だちは上手に泳げるし、ぼくは、とっても、かなしかった。だから、くじらくんの気もち、ぼくには、わかります。

「ゆめじやないの。」って言ったよね。ぼくも、そう思ったよ。だって、どうやってビルの上のぼったの。ビルの上ってこわくないの。ぼくなら、目をまわしてまっさかさまにおちてしまっかもしれないよ。それから、町の人が、くじらくんを食べようとしたとき、ビルの上からジャンプして空をスライスイとべたときは、どんな気もちだったのだろう。でも、くじらくんってすごいね。泳ぎがへたでも、空をとぶことができるんだもの。いいなあ。ぼくも、一どでいいから空をとんでみたいなあ。くじらくんと友だちになつていっしょにとびたいなあ。



ターゲットバードゴルフを楽しむ

油彩「風景」1964 境野一之作

走りがきのメモのような風景。町はずれの丘は、今でも時が静止している。樹木も家も人も、悠久の時の流れの中で、ほとんど姿を変えない。そんな昔ながらの風景が残っている。

庁舎美術館(56)

◎中学校だよ

去る10月20日、津奈木中学校において、平成5年度から2か年間取り組んでまいりました文部省研究指定である「生徒指導」の研究発表会を開催しました。

この指定に対し、教育委員会は、もちろんのこと、町民の皆様、そして本校PTAの皆様にも、暖かい御支援をいただきましたことについて心から感謝申し上げます。

発表会には町内3校の小学校の先生方にも参加していただき、また、アトラクションにおいては平国小学校児童による六方踊りが演じられ、参加者170名と盛況の内に終了することができました。

2年間の研究は、今やつと軌道に乗れ、生徒に変化が見えてきたのは最近になってからです。生徒の姿容はこれから急速になされてくるものと期待するところがあります。また、この研究によって、生徒の健全育成には地域の協力の重要性が明らかになりました。学校・家庭だけでなく、地域で子供を育てることが児童・生徒の健全育成につながります。

今後とも研究は継続されます。これからも皆様の御支援・御協力をよろしく御願ひ致します。

短歌

宮崎 優選

天にはもう雨のたくわえないので
すか作物ながめたづねてみたし

柳迫いづも
骨折の左手庇う日びにしてこの身
にかかる不自由さに耐ゆ

西滋子
出揃いし稲穂をゆらし風すぎぬ去
年の冷害忘れがたきに

野田浦子
弟も父も看れず吾いたむ肩を耐え
つつ庭に月みる

寺本ツルヲ
入院の姑に生けるくちなしの部
屋一ぱいに香りたつなり

福田八重子
高らかに校歌は響く甲子園の涙と
汗がつたわりてくる

白浜美和子
山元のあら草しげる無縁墓にお供
つなき文化センターへ

〔次笠〕初詣 無精して
一笠二句づつ 十二月九日まで

雲 波

神無月

万 葉

肥後狂句

胸算用 まあだ予算あるだろが
うち忘れ 孫の名前はまた聞かす

あけぼの学習会 沢田文子

胸算用 シメシメこれで勝ったばな
うち忘れ 持ったつもりで玄関に

胸算用 はすれて地団駄踏みよらす
うち忘れ あたは誰方でしたるか

〔次笠〕初詣 無精して
一笠二句づつ 十二月九日まで

つなき文化センターへ

ここに、こんな人が……

ひょうたん 瓢箪に

魅せられて

鶴田 宣尊さん(染竹)
毎朝四時過ぎに目覚め
床で読書をして夜明けを
待たれるという鶴田さん
は、八十六才とは思えな
い程顔の色つやも良く、
健康そのもので毎日を過
ごされている。

瓢箪作りを始めて手掛
けられたのが町の助役時
代だったそうで、瓢箪と
の付き合いも相当の年数
になるようだ。

九月の下旬、自宅へお



力作の瓢箪と鶴田宣尊さん

も根気がいる作業であらうと思
加工作業の一方では、来年度の準
備。種が品種別に分けられ、干し
てあった。

家の中へおじゃましたら、そこ
はまさに鶴田さんの力作揃い。瓢
箪は、鶴田さんのアイデアによ
ってさまざまな表情に姿を変えて
いた。絵付けされたもの、般若心
経が書かれたもの、何色もの色を
使って全体に色づけされたものな
ど、一つ一つの瓢箪に合った仕上
りがされていた。瓢箪のネクタイ
まであり、手に取り楽しませて頂
いた。これからは、瓢箪作りを楽
しんで頂き、ますます力作が増え
る事を願ひながら帰途についた。

に頼んで、子供用自転車の手頃な
ものを探してもらっていたものだ
った。

その事を父から聞かされた私は、
一日も早く、買ってもらった自転
車に乗ってみたいとなった。

その頃、父はまだ車の免許を持
たず、当然我家には、自動車もな
かった。

自転車の思い出

岩崎 安志

「月曜日は、会社の同僚に頼ん
で、家まで持ってきてやる。」と、
父は言ったが、もう、一日も待つ
事ができず、日曜日になるのを待
たず、当然我家には、自動車もな
かった。

父が、知り合いの自転車屋さん

初めて買ってもらった自転車は
今はもうない。サビ隠しのペンキ
をベタベタ塗ってある自転車だっ
たけれど、人の優しさを教えてく
れた自転車だった。